



平成 27 年 1 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社 王将フードサービス
 代 表 者 名 代表取締役社長 渡邊 直人
 (コード番号 9936 東証第一部)
 問 合 せ 先 R&C部 副部長 内田 浩次
 (TEL. 075-595-4484)

平成 27 年 3 月期 (第 41 期) 期末業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成 27 年 1 月 30 日開催の取締役会において、足元の業績動向を踏まえ、平成 26 年 5 月 15 日に公表した業績予想(連結・個別)について、下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせ致します。

記

1. 業績予想の修正

平成 27 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	79,563	7,987	8,190	4,933	244 38
今回修正予想 (B)	76,327	6,325	6,561	3,769	192 45
増減額 (B-A)	△3,236	△1,662	△1,629	△1,164	—
増減率 (%)	△4.1	△20.8	△19.9	△23.6	—
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	76,281	6,999	7,228	4,325	214 28

平成 27 年 3 月期 通期個別業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	79,489	8,204	4,946	245 05
今回修正予想 (B)	76,285	6,613	3,765	192 22
増減額 (B-A)	△3,204	△1,591	△1,181	—
増減率 (%)	△4.0	△19.4	△23.9	—
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	76,222	7,249	4,312	213 64

2. 修正の理由

平成 27 年 3 月期 期末 (累計) 連結・個別業績予想数値の修正理由

当社は、業績予想達成に向け、消費税率引き上げに伴う個人消費の低迷が続く中、値引きを主体とする販促を抑え、上質な商品とサービスによる付加価値の提供による既存店の活性化と新たな商品戦略により多様化する消費者ニーズの囲い込みに取り組んで参りましたが、円安による材料を始めとした様々な商材等の長期に亘る高騰、未払い賃金計上に至った悪しき慣習の抜本的な早期改革の重大さを認識し、業績向上とともに23年振りの販売価格見直しを行い、改めて薄利多売から脱却し価格以上の付加価値提供を掲げ、その一策として消費者の食の安心・安全意識の高まりに答えるべく、餃子の具・皮、麺の国産化を実施、更に組織・役員を含めた人事、従業員の労働環境の改善整備に取り組みました。

結果、沢山のお客様から国産化への称賛を得ながらも、既存店の深夜営業時間の短縮による売上減少に加え、天候不順による来店客数の減少も相俟って、当初業績予想に対し連結売上高は4.1% (個別4.0%) 下回る見込みであります。

営業利益・経常利益については、未払い賃金・賞与引当金の追加計上、原材料価格ならびに円安による経費の増加に加え、売上減少に伴う利益の減少、更に、弔慰金の贈呈、大雨災害に対する義援金の付など計画外の計上を行った結果、当初の予想に対し、連結営業利益は20.8%、連結経常利益は19.9% (個別19.4%) 下回る見込みとなり、当該期間の業績予想数値の修正を行うことといたしました。

(注) 上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により、上記予想値と異なる場合があります。

以 上